

# 国家戦略で読み解く 日本近現代史

令和の時代の  
日本人への教訓

黒川雄三著 A5判ソフトカバー300頁 本体 2,700円 ISBN978-4-8295-0770-4

幕末・明治から平成まで、日本の歩みを  
「国家戦略」を切り口に詳述する

それぞれの時代を〈外交〉〈安全保障・国防〉〈経済・通商〉の  
分野ごとに論じた総合通史

終章に、令和以降の日本の国家戦略のあり方を提言

- ★江戸幕府に経済戦略はなかったが、経済政策はあった
- ★明治維新が現在の経済・文化大国を産んだ
- ★太平洋戦争の遠因は幕末・明治にあった
- ★現代に通じる明治時代の社会・金融インフラ整備
- ★日本の技術を先導したのは軍需産業
- ★太平洋戦争の敗戦は日露戦争の勝利に始まった
- ★双子の赤字に苦しんだ日清・日露戦間期の日本
- ★大戦ブーム、大正の「神風」が吹いた
- ★満州事変—追い詰められた日本と軍部の独走
- ★無条約時代の国家戦略  
—日本の運命を決定した「国策の基準」
- ★攻勢期と防勢期の軍事戦略
- ★アメリカによる占領は日本の復興にとって僥倖だった
- ★日米安保条約—吉田ドクトリン（国家戦略の原点）の誕生
- ★戦後の防衛・軍事戦略—専守防衛の軍事ドクトリン
- ★東西冷戦と朝鮮戦争が神風となった日本経済
- ★「多国間協調」と「自国ファースト」のせめぎ合い
- ★大きく拡大・深化した日米同盟の歴史とは
- ★平成大不況／小泉内閣の構造改革／アベノミクスの登場

**黒川雄三**（くろかわ ゆうぞう）  
1945年京都生まれ（滋賀県立膳所高校卒）。防衛大学校卒、指揮幕僚課程・防衛研修所（現防衛研究所）一般課程（安全保障）修了。防衛大学校指導教官、防衛庁陸上幕僚監部防衛部員、調査部員、調査部班長、自衛隊地方協力本部長、陸戦学会理事、陸上自衛隊幹部学校主任開発研究官などを歴任。元陸将補。  
著書に『誰でもわかる防衛論』（2017年）、『近代日本の軍事戦略概史』（2003年）、『戦略思想家事典』（共著、2003年）、『21世紀マネジメント戦略』（2006年）、論文に「孫子の軍事理論」（2005年）、「日中戦争初期の戦略問題」（1999年）、「日中戦争中期の戦略問題」（1999年）などがある。  
滋賀県守山市浮気町在住

## ◎2050年の世界のトレンド

イスラム世界の貧困と紛争は世界の長期的リスク／中国、米国、インドなど超大国の覇権化は制限される

## ◎ICTとAIの技術が産業と社会の構造を変える

ロボット・AIの開発と実用化が飛躍的に進展する／ICT（情報通信）技術の分野は引き続き全産業を牽引する／無人兵器技術の高速の進化は倫理上の大問題

## ◎日本の外交・安保戦略の方向性は？

まずは集団防衛から始め、最終目標は地域的集団安全保障

序章 幕末日本の国家戦略	第5章 昭和初期日本の国家戦略 日中戦争まで
第1章 明治新政府の国家戦略 日清戦争まで	第6章 八年戦争期の国家戦略 日中戦争から終戦まで
第2章 日清・日露戦間期の国家戦略	第7章 戦後昭和期日本の国家戦略 大発展した戦後昭和期の日本
第3章 日露戦争後の日本の国家戦略 第一次大戦まで	第8章 平成日本の国家戦略 衰退する平成期の日本
第4章 ベルサイユ・ワシントン体制下の日本の国家戦略 1927年の恐慌まで	終章 日本未来の国家戦略

9月上旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 8月23日（金） です

FAX 03-3813-4615

**芙蓉書房出版**  
〒113-0033  
東京都文京区本郷3-3-13  
http://www.fuyoshobo.co.jp  
TEL. 03-3813-4466  
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
国家戦略で読み解く日本近現代史	部	
9月新刊 本体 2,700円		